

平成24年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／金沢大学①

提案内容	提案名	鯖江市小中学校給食献立選手権	
	提案者	金沢大学地域創造学類地域プランニングコース 2年（まちづくりインターンシップ）	
	提案内容	鯖江市内の小中学生から吉川ナスを取り入れた献立を募集する	
	概要	<p>◎市内小中学生から、吉川ナスを使ったメニューを1品以上含む献立を募集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期は吉川ナスの最盛期(7月～9月) ・選考は栄養士が行う ・優秀作品は実際に給食の献立になる ・献立名も併せて考えてもらう <p>◎応募者のためのHPを作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募者が吉川ナスについて事前に勉強できるように、わかりやすいHPを作成する。 ・HPは一般の人も見ることができ、情報発信源になる。 <p>◎応募者のプチ農業体験プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川ナス栽培農家に、応募者が1日滞在し、農作業体験をしたり吉川ナス料理を食べる。 ・世代間交流を通して、地域の活性化にもつながる。 	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから主婦・家庭へ吉川ナスが浸透する ・1日農業体験を通して、農家と子どもたちとのつながりができる ・子どもたちが鯖江の特産物に興味をもつことで、最終的に地元愛が生まれる 		
具現化検討部署	特産づくり応援室	教育政策課	
検討結果	判断	一部採択	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者のためのHPを作成する ・応募者のプチ農業体験プログラム 	児童生徒への吉川ナスの浸透
	形態	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定	開始年度未定
	事業詳細または不採択理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に限定せず、吉川ナスの料理レシピを広く市民から募り、コンテストを実施することは可能。(さばえ菜花市民ネットワーク等) ・応募者のためのHP作成は、特産づくり応援室HPおよび、おいしい応援団HPにて吉川ナスをPRすることで実施 ・応募者のプチ農業体験プログラムは、さばえ菜花市民ネットワーク等と連携し学校給食畑で吉川ナスの栽培、収穫体験や、公民館での料理体験を実施している。親子で実施しているおり、地域の食生活改善員等の協力も得ているので、世代間交流にもつながる。 	鯖江特産の吉川ナスは、学校給食において、ミニ地場産デーなどで食材として利用しており、児童へ吉川ナスを紹介しているところです。しかし、現状ではその認知度はまだ低いと考えられ、教育委員会としては、まず、吉川ナスの特性や食べ方などを子どもたちに教え吉川ナスのことをよく知ってもらうことが大切であると考えとおります。吉川ナスを使ったメニューの募集はこうした条件がそろったうえで実施したほうがより効果的だと思われます。

平成24年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／金沢大学②

提案内容	提案名	交流の家「つなぎ」		
	提案者	金沢大学地域創造学類地域プランニングコース 2年（まちづくりインターンシップ）		
	提案内容	河和田地区の空き家を利用し、学生や地元住民の交流の場とする		
	概要	<p>◎河和田地区の空き家を、休憩所として無料で開放する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鯖江に来る学生の意見交換の場や、学生と住民の交流の場として活用する ・利用できるのは、地元学生、鯖江に来る学生、地域住民 など <p>◎運営方法</p> <p>①交流イベントを、地域住民や学生が順番に決められる制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが実施したいイベントの日時や詳細等を、交流の家「つなぎ」の掲示板に貼って他大学生や地元住民に知らせる <p>②利用学生は簡単な登録をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報が、学生団体の代表者やメールアドレス登録者に配信される ・どの団体が鯖江に来ているのかが分かりやすくなる 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学生同士の連携や交流が推進され、新たな視点からの意見を得ることができたり、他大学と協働して鯖江のまちづくりに関する新たな事業提案ができたりする ・学生と地元住民との交流が推進され、ヒアリングだけでは生まれない深いつながりができる ・空き家が有効活用される 			
具現化検討部署	企画財政課	商工政策課	特産づくり応援室	
検討結果	判断	一部採択	一部採択	一部採択
	採択内容	河和田地区の空き家を、休憩所として無料で開放する。	アートキャンプ、中道アート事業において、空き屋の活用を視野に入れた展開を検討する	河和田地区の空き家を、休憩所として無料で開放する
	形態	新規事業として実施	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定	今年度(H24年度)から実施	新年度(H24年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	「ふるさと創造プロジェクト」の対象事業として、古民家(空き家)活用事業を計画している。素案として、河和田に訪れる多くの学生の活動拠点また交流拠点となる芸術文化創造”古民家レッヅ”としての整備を詳細計画策定の中で検討したい。	平成17年度から実施している河和田アートキャンプは、空き屋(古民家)を活用して、活動拠点としている。 また、アートキャンプ期間中は、民家内の蔵を活用して地域住民等の憩い・交流の場として蔵バー事業を行っている。 また、中道アートでは、地域内の民家等を借用して作品展示等を行っており、空き屋の活用についても地域と協議を行ったが、ほとんどの空き屋には仏壇等をはじめとする家財道具が残されており、通年型での使用には、所有者の同意を得るのが難しいとのことであった。	6次産業化チャレンジビジネス支援事業補助金を活用し、都市農村交流ビジネスを支援。市内の事業者等が、空き家ビジネスをはじめめることを支援可能。